

令和4年8月2日

東京都北区長  
花川與惣太 殿

自由民主党議員団

幹事長 大沢 たかし  
政務調査会長 永沼かつゆき

新型コロナウイルス感染症対策及び  
物価高騰等の影響緩和策の取り組みに関する要望について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が第七波を迎え深刻な影響が続く中、ウクライナ危機を発端とする原油・原材料価格の高騰や円安の進行に伴う物価高騰等の影響を踏まえ、地域経済や区民生活を支援し地方創生を図るため、「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」の地方創生臨時交付金を有効に活用し、迅速かつ適切な対策を実施して下さい。

自民党議員団はこの交付金を効果的に活用できるよう、緊急要望として下記の通り取りまとめを致しました。実現に向けて早急に取り計らいの程、よろしくお願い致します。

記

- PCR 検査体制の充実を求める。
- 薬剤師会（薬局・薬店）と協力し、抗原検査キットを希望する区民へ無料配布を求める。
- 感染症による自宅療養患者への更なるサポート充実（相談支援体制や北区独自の食料支援の拡充など）を求める。
- 飛沫感染のおそれのある公共施設の和式トイレについては洋式化、手洗いの自動水栓化の改修を行い、感染拡大の防止を図ること。
- 燃料費高騰の影響を受ける福祉施設、浴場組合等事業者への支援を求める。
- 燃料費高騰への対応として、心身障害者へのガソリン券補助の増額を求める。
- 保育園、幼稚園の給食費についても、区立小中学校同様の補助を求める。
- コロナ禍により深刻な影響（収入減、アルバイト解雇等）を受けている、ひとり暮らしの学生や留学生への食料品提供支援を求める。
- 電気料金値上がりの影響が大きい商店街設置の街路灯電気料金への補助増額を求める。
- 原油価格、物価高騰による燃料費や仕入れ価格の高騰の負担軽減に資する経営支策を求める。
- 物価高騰対策として、キャッシュレスポイント還元事業の早期実施を求める。また、前回事業分より拡大し、期間延長とポイント還元増額を求める。

以上